



座光寺風景

きれいな川をいつまでも

生き物観察の講師として、天竜川総合学習館かわらんべの中村貴俊さんをお迎えし、水中の生き物を捕まえて観察しました。当日は、日差しはありましたが、冷たい強風が吹き付ける中での開催となりました。それでも子どもたちは、ひざの辺りまで川の中に入って歓声を上げていました。陸上の気温は急激に下がってきましたが、水温は緩やかに下がっているため、水中の生き物はまだ活発に動いていると説明がありました。その言葉通りに、多くの生き物を採取することができま

ました。まず、共催の環境衛生委員会の指導によりゴミ拾いが行われました。心無い利用者によるゴミ不法投棄写真を参加者に見てもらい、捨てられたゴミが天竜川を下り海まで流れ着き、多くの生物に悪影響を及ぼすことを知ってもらいました。

寒さを忘れて採取に夢中
秋のいきもの探し



水の冷たさも忘れて生き物探しに夢中です

した。今回は珍しく、田ウナギが見つかり観察ケースに入れて観察しました。他にも、カマツカ・オニヤンマのヤゴ・コオイ虫・ヘビトンボの幼虫などを見ることができました。中村さんは、「この川はとてもきれいだと言える。この川を大事にしてほしい。厄介なのは、アメリカザリガニ。在来種を食べてしまうため増えないように捕まえたらいらぬ」と話しました。

(広報部)

市長と住民思いを共有 リニアがつくる新たなビジネスゾーン 市長と語るまちづくり懇談会

座光寺地区の「市長と語るまちづくり懇談会」が11月10日、座光寺公民館大会議室で行われた。新型コロナウイルス感染を考慮して、参加範囲を自治委員・地域協議会委員・地区長に限定し、総勢50名ほどの出席人数となった。

懇談は2部形式で行われ、第1部では、佐藤健飯田市長が挨拶を兼ねて座光寺地区への思いを述べた。座光寺を語るのに、市長の口から「リニア・大学農業・歴史」の4つのキーワードが発せられた。

まずリニア関連では、移転や騒音の犠牲を強いられる方たちと直接話し合う場が持てていないことへのお詫びがあり、できるだけ早い時期にその機会を設けたいとした。また将来構想では、リニア駅から元善光寺も含めたエス・バードまでのラインを「新しいビジネスゾーンに」との考えを示した。コロナ禍で、リモートワークなど企業の新しい働き方が広がっていることも、これに弾みをつけるとの見方。



エス・バードに信大の情報系新学部の誘致を進めている市だが、市長は「実現した場合、座光寺が大学のある街の中心地になる」と述べた。

農業は座光寺地区にとって重要な産業だが、「リニア駅周辺に美しい農業景観の広がる地は他に無い。都会の真似をして埋設しないよう、リニア時代に益々重要となるこの地の農業の、新しい取り組みについて考えて行く」とした。

また、この地に広がる何千年も前からの歴史や文化に言及し、その価値ある遺産を今後も大切にしていきたいとの思いを述べた。

懇談の第2部は、麻績の里ふるさと応援倶楽部・パノラマファーム大門委員会・歴史に学び地域をたずねる会・リニア地域づくり推進会議リニア部会が市側に意見や要望を述べた。市からは今懇談会に市長・副市長・教育長など全8名の方々の出席があり、それぞれの部署に関係する事柄について回答が行われた。

パノラマファーム大門委員会は、リングゴを使った発泡酒「シールド」を飲む文化の定着を提案し、市からは「大いに歓迎、協力する」との言葉があった。

歴史に学び地域をたずねる会からは「今ある地区の資料館が満杯。今後収集される貴重な資料の保存、地区の遺跡からの出土品の展示等をどう考えるか」との質問が出た。

市からは「施設の増設は難しく、既存の施設で調整を図るが、座光寺地区内で保存・展示等の場所の検討がなされることが理想。」との見解が示された。

リニア部会からは、用地買収に関連した不満や、フード非設置個所に対する騒音不安の声が揚がった。牧野自治会長は市に対して「住民に寄り添った対応」を要望した。

今回、佐藤市長の目指す「住民との対話を重視した懇談会」となったのではないかと。

(広報部)

930人が参加 秋のごみゼロ運動 環境衛生委員会

全市一斉、秋のごみゼロ運動が11月14日(日)に行われ、座光寺地区でも930人の方々に参加をしていただき多くのごみを拾うことができました。

また、42人の子どもさんにも参加いただきました。これからもより多く参加してもらい、運動への理解を深めていきたいと思います。

集計表にもありますが、空缶は300個を、ペットボトルは100個を、資源は100個を、燃やす袋は100袋、埋立袋は100袋、空きびんは100個、Pボトルは100個、その他は100個を拾いました。

また、写真で分かりますがタバコの吸がらが多数ありました。ごみの多い場所は、天竜川河川敷や人通り・車通りの多い道路のようです。

ごみを捨てない、落ちていたら拾う—このことをいつも気にかけて行動し、地域全体でごみを減らしていきたいと思います。

(広報部)



R3年 秋のごみゼロ運動地区別集計

地区名	大人 人	子ども 人	合計 人	ごみの内容							その他
				空き缶 個	空きびん 個	Pボトル 個	埋立 袋	燃やす 袋	資源 袋	車の部品	
宮の前	36	0	36	2	0	0	0	1	0		
唐沢	73	2	75	9	0	0	0	0.5	0		
共和	42	7	49	5	0	0	0	2	0		
下羽場	41	3	44	18	10	5	5	5	1		
中河原	32	2	34	40	1	0	2	5	2		
中羽場	18	0	18	4	0	7	3	1	0		
欠野	14	0	14	24	1	9	0	2	1		
河原	30	3	33	93	9	19	7	1	2	車の部品	
高岡	70	2	72	35	0	19	1	3	1		
清水	11	0	11	2	0	0	1	1	0		
恒川	22	0	22	7	0	2	0	1	0		
市場通り	54	6	60	5	4	2	1	1	0		
北市場	48	0	48	12	5	16	0	0	0		
上野	49	0	49	0	0	0	0	1	0		
上野新町	24	2	26	0	0	0	0	1	0		
万才	43	1	44	20	4	32	4	2	1		
原	53	3	56	6	0	0	1	1	0		
宮崎	95	1	96	22	3	17	1	5	1		
大堤	133	10	143	10	0	0	1	3	1		
合計	888	42	930	314	37	128	27	36.5	10		

ネットに載せられる 玄関ドアに貼り出せるものか？

座光寺の子どもを語る会

座光寺の子どもを健全な育成を願って、学校・PTAと家庭と地域の皆で話し合う「座光寺の子どもを語る会」を11月24日、座光寺小学校で100名の参加者により開催しました。

今年のテーマは、「子どもたちが生きていく情報社会の中で大人ができること」です。前半の基調講演では、講師に情報リテラシーの専門家である小木曾健氏を迎え「正しく怖がるインターネット」事例に学ぶ情報リテラシー」の演題で話を聞きました。

東日本の災害時に、ツイッターの投稿によって救援ヘリが飛び、無事400人以上が救出された事例や、ネット炎上では、拡散はたった2人で始まりすぐ100万人が参加し短時間で特定されてしまう、むやみに行動パターンなど書き込むと個人が特定さ



れてしまう、ネットに書き込むと消すことができない

などが挙げられました。「ネットは道具であり、大人も子どもも同じ。日常とネットは同じ、日常でやらないことは、ネットでもやらない。ネットに載せられるのは自分の玄関ドアの外に貼り出せるものが限界である」とまとめがありました。

スマホを持たせる適齢期についての質問に対しては、家庭によって違うが、手渡す前に親子でルールを決めておいて守れなかったら解約する「お試しスマホ」の提案もありました。

引き続き8グループでの意見交換会を行い、講演会の感想、日頃の心配事や聞いてみたい事など情報交換をしました。

主な内容は

【感想・意見交換の内容では】

- ・ ネットの怖さが分かった。
- ・ 子どもたちにとってインターネットは欠くことができない。子どもの方が知っている。大人も勉強しないといけない。
- ・ 家庭内でのルール作り・コミュニケーションが大切である。

【当日のアンケートでは】

1 分散会の感想

・ 参観日や学校行事が少なくなつて親同士の情報交換の場も少なくなつていたので話し合いが持ててよかった。

・ 怖がり過ぎず、正しい知識を親子ともども勉強しながら正しく怖がりたい。知らないことが一番怖いと分かりました。

・ スマホに限らず、普段の生活の中でコミュニケーションやルールを守りながらやっていくことが大切。

2 まだ話したかったこと

・ 各家庭のネットやルールについて。

・ 子どもも大人もスマホ使用時間が長くなりがちへの対策について出し合えたらよかった。

3 今後話題にしたいこと

・ 不審者の目撃情報が多いので、防犯について。

・ リニア関連工事が増えるので、通学路の危険箇所についての情報共有。

・ 地域・家庭内でもあいさつができる子どもにするには。

今回の語る会、各家庭で親子が話すきっかけとし、地域の皆さんで座光寺の子どもを育てていきたいと思えます。

マレットゴルフ場再開



天竜川河川敷のマレットゴルフ場の再開セレモニーが9月20日(月)に行われました。マレットゴルフ場は、座光

寺地域自治会が運営するスポーツ施設です。8月の大雨で天竜川が増水したため、泥まみれになり使用できなくなっていました。マレットゴルフ愛好会の皆さんを中心とする方々のご尽力により、泥を取り除き再開することができました。

当日は晴天の下、マレットゴルフ愛好会の皆さんが大勢集い、華々しく開催されました。参加した愛好会の方は「マレットゴルフはスコアを気にせずに、健康の維持・増進のために多くの方にプレーしてほしい」と語っていました。

(広報部)

近世の治水のかたちと 座光寺の石川除

公民館大会議室にて歴史に学び地域をたずねる会主催による「近世の治水のかたちと座光寺の石川除」という講演会が11月6日(土)に開催されました。

約30人が参加し、講師に帝京大学文化財研究所客員教授の畑大介氏をお迎えして、日本各地の堤防の歴史や、それらと「石川除」との違い・特徴などを解説していただきました。

「石川除」は江戸時代に天竜川の氾濫を防ぐため築かれた割石二段積み堤防です。同じ時期に築かれた堤防と比べ、水門が大きく、急勾配で堅牢ではあるが、短く局所的という特徴があり、県の史跡に指定されています。

みなさんも座光寺の身近な歴史を感じてみてはいかがでしょうか？

(広報部)



「紙飛行機はどのようにして飛ぶの?」模型飛行機を作ろう!」

エス・バードから発進! 模型飛行機作り体験

この紙飛行機、どうしたらもっとうまく飛ばんだらう?子ども達の頃、このような疑問を持って遊んだ経験があった方も多いいと思います。

今回は、小学生と保護者の皆さん16名の参加となり、講師には、信州大学工学部特任教授柳原正明氏に、航空講座と模型飛行機作りを教えてくださいました。

大スクリーンで、飛行機の歴史や空飛ぶクルマの動画など、夢が現実になりつつある貴重な話を聞きました。そしてこの後の模型作りの基礎となる、飛行機の主翼や尾翼の働きなどを学び、ゴム動力のプロペラ機を作りました。

思い思いのカラーで羽根を飾った飛行機を、子どもたちは真剣に調整します。「もっと飛ばないかなあ」と探究心を持って取り組む子どもたちの姿に目を細めました。

「空に興味を持った」「色々考えられて良かった」との子どもたちの言葉があり、保護者の方も「航空には私が興味津々なんです」と、皆さん学びながら楽しんだ様子でした。



自慢の飛行機を思い切り飛ばしました

子どもたちには夢を持って、パイロットやアテンダン、技術者など、これからの地球環境にも配慮した未来を担う若者へと飛び立って欲しいと思う時間でした。

最後に皆で、作った模型飛行機を一齐に飛ばして楽しみました。

(広報部)

麻績の里体験学校 恒川遺跡群探検と火おこし体験

恒川官衛遺跡公園で公民館健全育成部主催の「恒川遺跡群探検と火おこし体験」が11月7日(日)に行われ、5組15人の親子が参加しました。

恒川官衛遺跡周辺、恒川清水の説明・見学に飯田市教育委員会文化財保護活用課の坂井さんと吉川さんを迎え、その後、火おこし体験を行いました。

この事業には「子どもたちに座光寺の歴史や文化や自然を学ぶ機会を提供し、郷土を愛する心を育てたい」という思いが込められています。

山ぶどうの収穫 ワイン・ジャム・ジュースに

「麻績山ぶどうの会」で、山ぶどうの収穫が行われるということで、9月2日(木)大門原のぶどう畑へ向かいました。「麻績山ぶどうの会」は、遊休地・里山等を活用して里山の豊かな恵みを味わう事を目的に平成21年から活動している団体です。

まず、収穫のお手伝いをしました。ピクとハサミをお借りし、棚の隙間に頭を入れて、かわいい紫の房をパチン、パチン。ピクに3杯程度取りました。いい汗をかきました。

められています。

遺跡見学では、現在も発掘中での辺りは7世紀後半から10世紀前半にかけて伊那郡の役所があった事などが説明されました。

次に恒川清水へ移動し、昨年に行われている恒川清水の整備により、かつての水を湛えている清水の様子を見学しました。その後遺跡に戻り、火おこし体験をしました。健全育成部によると「火おこし体験は過去

会長の吉川敏美さん

「昨年は例年の半分ほどだったが、今年はその量が取れそう。500kgは取りたい。主にワインに加工するが、残りにはジャムとジュースにしている。ワインは出資者に配分し、ジャムとジュースは販売している。貸してもらった梨畑の端に山ぶどうが少なかったため、手を入れて山ぶどうを増やした。年に何回か草刈りをし、春先は余分な枝を払い、2回枝止めをしている。真夏の真つ盛りにも行うので大変な作業だ。山ぶどうを作っている人は少ないため、伊賀良で作っている人に教えてもらった。現在会員は32人いるが、多くの皆さんに関わ

何回か開催しているが全員が火を起こせたのは今回がはじめて」「火を起こすには熟練が必要」との事でした。また参加者からは「3回目の参加だが今回はようやく満足いく火がおこせた」などの声が聞かれました。



整備され、水を湛えた恒川清水



て欲しいため会員を募集しています。合わせて出資者も募集しています。ワインは無添加です。ジュースは濃い味なので炭酸で割るとちょうどよいです。健康維持にもよいですよ」(談)。

山ぶどうのワイン・ジャム・ジュースが座光寺の名産品になるといいなと思います。

(広報部)

座光寺保育園



「座 女子力」の皆
さんが、コロナ下でも地域に出来る
ことをとぞうきんを縫って届けてく
れました。会員の皆さんが手分け
して縫ってくれたぞうきんは80枚。
縫い目の糸がカラフルで子ども達は
「きれい！」と大喜びでした。「ぞ
うきんを使って、保育園をびかび
かにしてね。お祭りや文化祭で皆
さんに会えるのを楽しみにして
よ。元気に過ごしてね」と声をか

けて頂きました。大事に使
わせて頂きます。



ヤギさんとわたしたち

座光寺小2年 木下 千世

1年生の11月15日、ヤギの
こはくちゃんが無くなってし
まいました。

2年生になり、またヤギさ
んをかいたい気持ちが出てき
たので長い時間をかけて話し
あいました。そしてくし原さ
んにおねがいし、さくらちゃ
んをむかえることになりました。
した。たく
さんのひと
にささえて
もらいな
ら、2カ月
元気にすご
せています。
ありがとうございます
の気持ちで

いっぱいです。

いよいよ冬が近づ
いているので、エネ
ルギーのもとになる
エサがみつようです。
カンやハガキでお金
をあつめて、のうこう
しりようを買います。み
んなできよう力してがんば
りたいです。

大変だったいねかり

座光寺小5年 小林 叶汰

今回のいねかりは、特別な
かまで行い、始めから作業は
むずかしかったです。しかも、
多くの作業する場所は日かげ
で、まだかわいていなかった
からどろろの中で作業すること
に。どろにはまりながら作業
をしていったから、とてもつ

をこうじの
子どもたち

「なりたい自分を見つめよう」
高陵中キャリアフェスティバル
キラリ☆ハタラクビトで

学んだこと

高陵中2年 太田 愛菜

(宮の前)

私はキラリハタラクビト
で学んだことが2つありま
す。

1つは、やりがいを聞い
ての共通点は、お客さん・
患者さんの笑顔のためだ
というところです。働

かれました。しかし、
ボランティアの人や
友達と助け合いなが
ら作業をがんばれま
した。友達5人で稲
を刈っては束ね、束
ねては運びと忙しかっ
たです。

「たまったから持って
行って」と友達と声をかけ
ながら、どんどん作業を進
めていけてよかったです。
もう、だっこくまでした
ので、

お米を
早く食
べたい
です。



職業体験(消防署放水体験)

「総合的な学習の時間」
皆で創る未来の座光寺

高陵中2年 久保田優希

(市場通り)

私は学校の授業で今の座光
寺の課題とこれからの座光寺
について小島稔さんにお話を
伺いました。そして座光寺の
基本構想の冊子を見せてくだ
さいました。その冊子の中に
は座光寺の住民の描く理想の
座光寺や、それを実現させる
ための具体的な計画のことが
細かく書かれていました。そ
の冊子は約16年前に作ったそ
うですが、中身を見ると「文
化や産業を後世に残したい」
や「たくさんの人に座光寺の
魅力を知ってほしい」など私
と同じ考えがほとんどで、今
も昔も座光寺を思う地域住民
の思いは変わらないのだと思
いました。そして今の座光
寺は少子化が進んできてしま
っているという課題も知り
ました。そして小島さんは私
たちにたくさんの地域行事に
参加し、地域を盛り上げて
いてほしいと仰っていました。

誰かのために、患者さんの
ために助ける看護師さんたち
を想像すると、私も人を助け
る仕事がしたいと強く思いま
す。
夢が広がり、選択肢も増え
ました。将来が楽しみです。

私は以前から地域行事に参
加していました。しかしそん
な思いを聞き、更にたくさん
の地域行事に参加し、地域の
力になりたいと思いました。

みんな大満足!! パノラマファーム大門

「親子で楽しむパノラマファーム」が12月5日(日)パノラマファーム大門で行われ16家族46名が参加しました。当日はリンゴの収穫・クイズラリー・シャボン玉・イメージキャラクター投票などがありました。

この催しは飯田OIDE長姫高校商業科3年生が行う地域人教育で生まれた企画で、



ジャンボしゃぼん玉、成功!

育でているりんごの収穫体験を行い、次に高校生がパノラマファームで行っている事業をクイズ形式にして、一周まるくクイズスタンプラリーを行いました。最後に、参加者みんなでシャボン玉を飛ばして楽しみました。ジャンボシャボン玉もあり、大きなシャボン玉ができると歓声が上がっていました。参加者からは「リンゴが採れて

「パノラマファームは良い場所だが知名度が低い。パノラマファームの魅力座光寺地域にもっと発信していこう」と高校生とパノラマファーム大門・壮年団OB・座光寺公民館が協力して行いました。当日は雲一つない晴天で、会場からは冠雪の南アルプスがくっきりと望めました。まず初めにパノラマファームで



練習以上の好プレー 市バレーボール大会

令和3年度代表
佐々木 真理 (河原)

11月14日(木)飯田市バレーボール大会に参加しました。コロナ下の開催で、例年の半分程の7チームが参加しました。今大会は交流戦として順位もなく、楽しむことを目的

よかった」景色が良かった」「パノラマファームでイベントがあったらまた参加したい」などの声が聞かれました。催し後のアンケートによると今回の参加者の中でパノラマファームを知っていた人2

割程度で、訪れたことがある人は1割にも満たしていませんでした。このような企画が来年も行われパノラマファームの名前がさらに地元広がっていけばと思います。(広報部)

に行われました。

座光寺地区内のチームに声をかけ、有志の選手9人がやっと集まり参加した即席チーム。少ない練習時間しか取れませんでした。強いチームワークが生まれ、当日は2戦2勝という好成績を残せました。練習以上の好プレーを發揮することができ、試合という緊張感の中でしか得られないものがあると感じました。

厳しい状況の中で開催してくださり、主催者の方、公民館や地域の方々には本当に感謝しております。

いきいき大学 SICの旅

宮下 淳子 (恒川)

10月26日(火)、雨あがりの好天に恵まれ、座光寺SICを使ってバスの旅に出発。天竜峡では名所をゆっくり散



策。案内人の方をご指導されたのは座光寺の方(松下さん)と伺い、縁を感じました。天竜峡大橋そらさんぽの長い橋を渡り切った先には、青空の下でちらちらと咲く四季桜がきれいでした。

その後、美博を訪れ春草展を見学しました。一緒に行ったお仲間の中に「子どもの頃、春草の家で絵を見せてもらったかも・・・」という方もいらっしやいました。参加者の皆様と楽しい時間をご一緒でき、感謝いたします。

座光寺の 発掘現場を歩く

座光寺石原遺跡・ 五郎田遺跡

歴史に学び地域をたずねる
会・2000年浪漫の里委員
会・座光寺公民館主催による
「座光寺の発掘現場を歩く」が
11月15日に開催されました。

リニア中央新幹線関連工事に
伴い、実施されている「座
光寺石原遺跡」「五郎田遺跡」
発掘作業の見学を行いました。
当日は、歩くのにもって
こいの雲一つない晴天の下、
約20名が参加しました。発掘
調査の説明は、長野県埋蔵文
化財センターの桜井さんに担
当していただきました。「座
光寺石原遺跡」では、ナギジ
リ2号古墳が発掘中であり、



五郎田遺跡の発掘現場見学



発掘された遺物の説明を聞きました

石室の間近まで入って見学
しました。石室の入り口は閉塞
石も残っており、鉄鍬（てつ
ぞく）・耳環（じかん）など
が出土しているようです。発
掘後は、道路の下に埋まっ
てしまった詳細に記録を残し
ているという事でした。

次に「五郎田遺跡」に向か
いました。ここは、国史跡の「恒
川官衙遺跡」と同一の段丘面
にあるため、その関係が注目
されています。4月中旬から
の発掘作業で弥生時代後期
から奈良・平安時代にかけて
の集落跡が見つかっていま
す。また、数多くの土器も見つ
かっており、数百年間もここ
に定住していた痕跡があるとい
う説明でした。大昔の役人
が、ここから恒川官衙まで出
動していたのかな？と思いは
せてみました。（広報部）

壬生 彩花

私はずっと、二十歳になったらもう完全に
大人の仲間入りをして、何でも自分で決めて
行動できるような、そんな自立してかっこい
い自分になれるだろうと思っていました。で
も実際、二十歳になってみると、思っていた
よりも自分は子どもで、一人では何もできな
いんだなと強く感じました。だからこそ、伸
びしろがあると考えてもっと自分で何でもで
きるように、色々な事に挑戦していきたいと
思いました。

ここまで健康に育ててくれた
両親に感謝して、これから恩返
しをしていきたいです。

佐々木祥花

二十歳になり、成人という人
生の大きな節目を無事に迎える
事ができた事を嬉しく思ってい
ます。

今、リニア中央新幹線開通に
向けて様々な工事が進んで昔か
ら馴染みのある建物が無くな
り、新しく道が開けるなど、座
光寺も変わりつつあり寂しく思
います。私は成人式実行委員に
携わらせてもらい、座光寺地域
の魅力について学んできましたが、地域活
性化に向け新たな取り組みが行われている
事を知り、逆に楽しみでもあります。
自分も座光寺に貢献できるよう成長して
いきたいと思っています。

立花 巳緒

二十歳という節目の年を迎え、これまで
支えてきてくれた家族や友人、たくさんの方
に感謝の気持ちでいっぱいです。コロナ
禍の中で成人式はできませんでしたが、実
行委員の皆と一緒に自分たちが住んでいる

令和2年度 新成人の言葉

林 ももこ

これまでの20年間は、私にとってもの
すごくあつという間でした。高校を卒業
し、地元で就職したいと思い、今はホ
テルマンとして働いています。社会に出
て、厳しさや大変さ、色々な方々の優し
さなど、たくさんのお事を学び、感じて日々
を過ごしています。

今まで辛い事があっても、同期や先
輩・友達・家族の存在がとても大きく、
いつも支えてもらい本当に心から感謝し
ています。
私はこの先も周りの方々に支えてもら
いながら、より人の為に自分のできる事
を精一杯取り組んでいきたいと思いま
す。



令和2年度 実行委員の皆さん



シリアス 26
カザグルマ
ン（6弁）中国原産）やクレマチス（紫や赤色）園芸種）とそつ

国や県は自然保護などのために希少な動植物を「絶滅危惧種」に指定しています。その中のカザグルマ・スズサイコ・ササユリ等が座光寺に自生しています。カザグルマはこの地方が北限で、さらに北にあるものは栽培品。南には少しづつあつて、市内山本・阿智村などに自生地があります。



カザグルマの花…径10cmほどで野生には思えない。クレマチスの仲間では花弁に見えるのはがく片。

美しい花

写真で見るとなかなかに品があり美しいもの。テッセ

くり。名前は花の形が「風車」に似ていることから。花が美しいので野で咲くと採取され

てしまい、ほんのわずかしか自生していません。実際、道路際にあつたのが無くなってしまったことが私の知っている限り3回あります。おそらく今までも何回も採取されて、今あるのは生き残りでしょう。でもこのような花が地域に自生していることを誇りに思いたいですね。

リニア関連工事

伊那谷の皆さんが期待をしているリニア新幹線。何かと課題があるようですが、座光寺でも着々と準備が進んでいます。その一つがリニア駅と中央道座光寺SICを結ぶアークセス道路。県は道路を造る土曾川沿いの環境アセスを実施し、希少動植物の調査をしました。その結果ヒメカンアオイ・サイカチ・カザグルマなどの移植をしました。実はこの調査、関係法令に定められた距離以下だったので、やらなくても良いのですが、

県は承知していて、飯田市の「環境」を標榜している姿勢に配慮してか、行ったのでした。

工事は着々と進み、この秋には土曾川の橋を造るため、迂回仮通路（写真）を造り直した。この迂回路の一部はアセスの範囲外。私も気が付かないうちに工事が進み、スズサイコが失われてしまいました。この一連の工事のために市道の拡幅強化が計画されています。この拡幅地にもカザグルマがあるのです。

実はこの拡幅工事に気づいた時、緊急に市の関係部署に連絡したのですが、すぐに動



土曾川の河川迂回路（右）左が本流で、ここにアークセス道路の橋を作るための工事が行われている。この画面の中にカザグルマの自生個体がある。

いてくれませんでした。いくつかの段取りを経て、環境アセスを実施した業者が移植することにになりました。



カザグルマの種子…雌しべがそのまま大きくなったもの。毛は風で種子を飛ばすためだが、実際はほとんど風で飛ばない。

今後の保護

クレマチスと同じ仲間のためこれらの花とも交雑し、雑種ができます。ただ野生の個体に外来種の遺伝子は持ち込みたくありません。

県は緊急に移植し、さらに枯れたときのことを考え、正式の手続きをして株分けの一部を近くの畑に預けることにしました。また私も預かることになっていきます。これから種子や株分けで増やして、指定種栽培許可の手続きをして賛同者に分散、絶滅から護りたいと思っています。

（伊那谷自然友の会 小林正明）

編集後記

丑年が暮れようとしています。今年私が仕入れた牛の雑字をひとつ。

皆さんは、牛の上あごには前歯が無いということをご存じでしょうか？牛の前歯を観察すると、下あごに歯はありますが、上あごには歯ぐきしかありません。身近な動物の牛ですが、私も、私の友人も前歯の事を知っている人はいませんでした。牛に限らず、牛の仲間である、羊やヤギ、更にはキリンにも、上あごの前歯は無いのです。

スタジオジブリの名作、となりのトトロで、メイちゃんのとウモコロシを狙うヤギが登場しますが、このヤギには無いはずの上あご前歯が描かれてしまっています。あのジブリも知らなかった、牛とその仲間の上あご前歯の真実。

皆さんも、ぜひインターネットなどで、牛の前歯とメイちゃんのヤギ、調べてみてください。

（広報篠田）

